

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国人英語指導助手の学校訪問事業		
事業担当	学校教育部 指導室		
予算科目	01-100103-120000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	幼稚園、小・中学校の幼児、児童、生徒	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
幼児・児童が外国語にふれたり、外国の生活や文化に親しみをもっています。生徒の英語に対する興味関心が高まり、コミュニケーション能力の基礎が培われています。		児童・生徒の英語力の向上や国際理解を深めるため、外国人英語指導助手が学校を訪問し、担任との共同の授業を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	外国人英語指導助手数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			6	10	12			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	各学校・園への延べ訪問回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1,128	1,880	2,256			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
中学校では、外国人講師による指導を行うことで、英語に対する生徒の興味・関心を高め、英語に親しむ習慣形成を図ることができた。幼稚園、小学校では、要請に応じ外国人講師が訪問したことで、英語活動の推進を図ることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中学校における英語教育、小学校、幼稚園の英語活動に関する関心は高く、告示された新学習指導要領においても、今後の学校教育において大変重要な位置付けとされている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	外国人講師による指導を行うことで、英語に対する幼児・児童・生徒の興味・関心を高め、英語活動の推進を図っている。また、事業の継続により更に英語に親しむ習慣形成を図ることができる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	各中学校における約10時間の授業と幼稚園・小学校の英語活動を通して、英語に関する幼児・児童・生徒の興味・関心を高め、英語に親しむ習慣を身につけることができる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	訪問する学校や幼稚園、小・中学校間の訪問計画の調整等により効率化が図られている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

中学校における英語教育、小学校、幼稚園における英語活動に関する関心は高く、また、告示された新学習指導要領では、中学校における授業時数増や小学校への英語活動の導入が示されており、今後、外国人英語指導助手の増加が不可欠である。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				外国人英語指導助手による学校訪問	外国人英語指導助手による学校訪問	外国人英語指導助手による学校訪問		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	26,076	29,076	43,356	0	0
事業費 (A)		0	0	26,076	29,076	43,356	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,196	4,196	4,196	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	30,272	33,272	47,552	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 中学校における英語教育、小学校、幼稚園における英語活動に関する関心は高く、また、告示された新学習指導要領に示されている内容により、今後、外国人英語指導助手の更なる増員を含めた事業の拡大を図る。	
平成21年度の実行方針	
外国人英語指導助手の増員を図ることにより、幼児・児童の英語活動の充実と生徒の英語への興味・関心の向上を図ることで、コミュニケーション能力の基礎を培う。	
課長コメント	今後、中学校における授業数の増加や小学校、幼稚園への英語活動の導入等が移行期間を経て実施される。市民ニーズも含め、外国人英語指導助手の増員を図る必要があると考える。